

芝生用殺虫剤 タフバリア<sup>®</sup>フロアブル

■適用害虫と使用方法

| 作物名 | 適用害虫名        | 希釈倍数<br>(倍) | 使用時期              | 本 剤 の<br>使用回数 <sup>*</sup> | 使用方法                                     | イミダクロプリドを含む<br>農薬の総使用回数 <sup>*</sup> |
|-----|--------------|-------------|-------------------|----------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------|
| 芝   | コガネムシ類幼虫     | 1,000       | 成虫産卵時期～<br>幼虫発生初期 | 2回以内                       | 1㎡当り0.2ℓ散布                               | 2回以内                                 |
|     |              | 2,500       |                   |                            | 1㎡当り0.5ℓ散布                               |                                      |
|     | シバオサゾウムシ     | 1,000       | 発生初期              |                            | 1㎡当り0.2ℓ散布                               |                                      |
|     |              | 2,500       |                   |                            | 1㎡当り0.5ℓ散布                               |                                      |
|     | チガヤシロオカイガラムシ | 2,500       | 発生前～発生初期          |                            | 1㎡当り0.5ℓ散布                               |                                      |
| つつじ | ツツジゲンバイ      | 5,000       | 発生前               | 1㎡当り<br>1.0ℓ株元灌注           | 本剤 2回以内<br>イミダクロプリド剤 5回以内<br>(株元灌注は2回以内) |                                      |
| さつき |              |             |                   |                            | 2回以内                                     |                                      |
| かえで |              |             |                   |                            |                                          | モミジニタイケアブラムシ                         |

\*印は本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■有効成分とその特長

イミダクロプリドはコガネムシ類幼虫やシバオサゾウムシなどに対して高い殺虫効果を発揮し、浸透移行性と早い効果発現力を持つ長期残効型クロロニコチル系薬剤です。

製 剤

イミダクロプリド.....20.0%  
1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N-ニトロイミダゾリジン-2-イリデンアミン  
界面活性剤、水等.....80.0%

物理的・化学的性状

白色水と性粘稠懸濁液体

■安全性

●人畜毒性

| 試験項目       | 動植物種                    | 毒 性               |
|------------|-------------------------|-------------------|
| 急性経口毒性(劇物) | ラット(♂) LD <sub>50</sub> | 3,200 (mg/kg)     |
|            | ラット(♀) LD <sub>50</sub> | 4,100 (mg/kg)     |
|            | マウス(♂) LD <sub>50</sub> | 660 (mg/kg)       |
|            | マウス(♀) LD <sub>50</sub> | 700 (mg/kg)       |
| 刺 激 性      | ウサギ(原液)                 | 皮膚刺激性なし<br>眼刺激性なし |
| 感 作 性      | モルモット                   | な し               |

●水産動物への影響

| 試験項目 | 動植物種                  | 毒 性          |
|------|-----------------------|--------------|
| 魚毒性  | コ イ LC <sub>50</sub>  | 579mg/(96時間) |
|      | ミジンコ EC <sub>50</sub> | 240mg/(48時間) |

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振って下さい。
- 使用量、使用時期、使用方法を守って下さい。特に初めて使用する時は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにして下さい。
- ミツバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意して下さい。
- 散布時は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣等を着用して下さい。作業後は手足、顔を石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗して下さい。(弱い刺激性)

- 医薬用外劇物です。取り扱いに十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の担当を受けて下さい。
- 使用中に異常を感じた時は直ちに医師の担当を受けて下さい。
- 街路、公園等で使用する場合には、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払って下さい。
- 使用量に合わせ薬剤を調整し、使い切って下さい。
- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所に保管して下さい。カギをかけて下さい。盗難・紛失の際は、警察に届け出て下さい。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消化剤等で消火に努めて下さい。
- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収して下さい。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。  
※空容器は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。

代理店名

バイエルクロップサイエンス株式会社  
エンバイロサイエンス事業本部  
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5  
www.bayercropscience.co.jp

(EL2-08) 20.09.NY 印刷:平成20年9月

芝生用殺虫剤



タフバリア<sup>®</sup>フロアブル 農林水産省登録第20664号



シバオサゾウムシ幼虫



シバオサゾウムシ



チガヤシロオカイガラムシ



コガネムシ幼虫

タフバリアの効果にお任せ下さい！ 長く効く。



Bayer Environmental Science



## 特 長

### ① 高い殺虫効果

従来剤に比べて少ない有効成分量で孵化直後から若齢幼虫まで高い殺虫効果を示します。接触毒と食毒効果がありますが、食毒効果のほうが高いと考えられています。

② 優れた残効性（約3ヶ月以上）

残効期間が長く、散布回数の軽減が可能です。また、適度な土壌吸着があるので、下方への流亡が少ない薬剤です。

### ③ 作業の省力化が可能です

散布水量が0.5ℓから0.2ℓ/㎡と少なく、従来剤(1~3ℓ/㎡)に比べ作業時間の短縮が可能です。

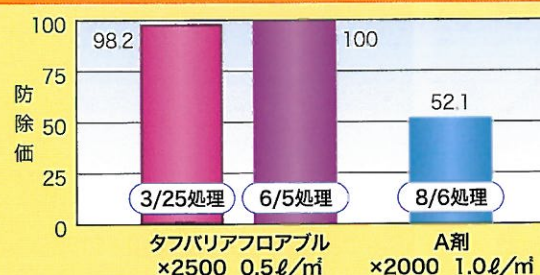
**春に処理して3ヶ月以上の残効！**  
活発な幼虫の摂食行動を抑制し、芝生を守ります。

\*気候、土壌、管理方法によっては異なる場合があります。

## ■タフバリアフロアブルの処理適期

予防的に早めの散布をすることによっても、優れた効果を発揮します。

試験場所：理研グリーン研究所内コウライシバ圃場  
調 査 日：2002年8月20日  
対象害虫：オオサカスジコガネおよびチビサクラコガネ幼虫



### ■発生と防除時期

## タフバリアの散布適期

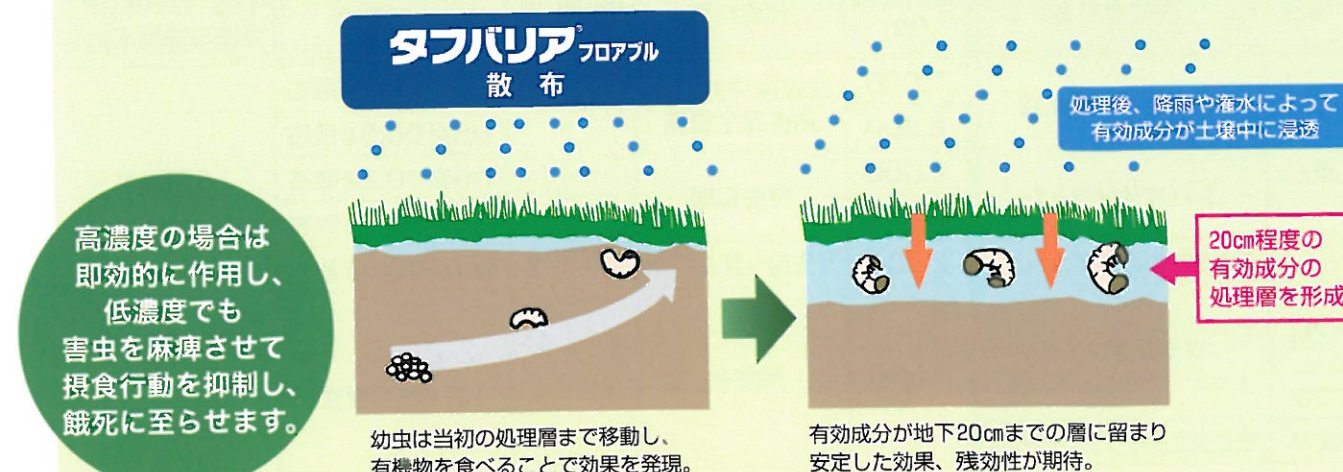
| 1月       | 2月 | 3月 | 4月       | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|----|----|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
|          |    |    | ヒラタアオコガネ |    |    |    |    |    |     |     |     |
|          |    |    | ウスチャコガネ  |    |    |    |    |    |     |     |     |
|          |    |    | チビサクラコガネ |    |    |    |    |    |     |     |     |
|          |    |    | コイチャコガネ  |    |    |    |    |    |     |     |     |
|          |    |    | セマダラコガネ  |    |    |    |    |    |     |     |     |
|          |    |    | マメコガネ    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| シバオサゾウムシ |    |    |          |    |    |    |    |    |     |     |     |

|    |                                                                                     |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 成虫 |  |
| 幼虫 |  |

※さまざまなコガネムシに使用できます。 ※この表は関東～東海地方の標準的な幼虫の発生活消長を示したもので、地域、天候等により発生の時期は前後します。

**早めの散布で長く効く。ポイントは浸透移行性!**

芝の根の周辺に有効成分が浸透し、長く安定した効果・残効が期待できます。



**いま注目のチガヤシロオカイガラムシ防除に高い効果。**



チガヤシロオカイガラムシによる被害(写真-1)

春にコウライシバ・ノシバにしずみ症状が発生し、殺菌剤の効果が無い場合は、特にチガヤシロオカイガラムシの発生を疑う必要があります(写真-1)。ホールカップで掘り取って、茎の分岐点に黒ずんだ小さな繭状の(初期は全体が白いが、排泄物等で黒く汚れてくる)ものが見られたら、これがチガヤシロオカイガラムシの成虫(写真-2)です。

成虫はろう質の殻に覆われていて薬剤効果が期待しにくい為、防除は幼虫の発生時期に行います。

幼虫の発生は5月下旬～6月と8～9月頃の2回、  
この時期が散布適期です。



無処理区

タフバリア処理区



白い殻の  
チガヤシロオカイガラムシ成虫



殻を一部はいた  
チガヤシロオカイガラムシ成虫  
(写真-2)

## 散布適期

**散布適期**

|                  | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| チガヤシロオ<br>カイガラムシ |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |